

査読委員会（reviewer board）の創設および委員募集

人間工学誌編集委員会

平素より人間工学誌の運営にご支援を頂き、ありがとうございます。

このたび、人間工学誌編集委員会では新たに査読委員会（reviewer board）を創設し、内部査読者制度の運用を行うことと致しました。エディトリアル（vol56(6), p.219-221, 2020）でも述べましたように、「投稿したいジャーナル」を目指して第7期編集委員会では新査読方針：「石を拾うことがあっても、玉を捨てる事なかれ」の下、制度改革を進めています。エディトリアルの再掲ですが、誤解を恐れずに書けば、厳選された論文が仮に毎号1~2本しか掲載されない雑誌が、果たして「投稿したいジャーナル」と投稿者や読者に映るのだろうか、という問題意識に立脚しています。科学的・学術的な理論の礎となる原著／総説論文は客観性・科学的合理性を担保する必要があるため、従来通りの新規性・有用性・客観性の三基準で厳正に審査する必要があります。一方で、リサーチ・イシュー／短報／実践報告等はむしろ、現場の中で取り組まれている実践や将来の人間工学研究のシーズを拾い上げ、今後の研究課題の概観と展望を提供するものです。つまり、読者に新しい視点や知識、動向を伝えることに主眼があります。このような論文に原著論文と同水準の客観性・科学的合理性を要求してしまうと、ほとんどが不採択となってしまい、貴重な知見が埋もれてしまうこととなります。多少の不備が仮にあったとしても、実践から得られる知見を提供することは、読者に新しい視点や知識、動向を伝えることに繋がり有益であると編集委員会では考えています。

このように、前者の「理論」の蓄積のための査読基準（A）と、「実践」に関する新しい視点や知識を発信するための査読基準（B）を明確に分けた運用を行うために、リサーチ・イシュー／短報／実践報告等の「実践」論文の査読を担って頂く査読委員会制度を立ち上げるに至りました。

事前にトレーニングを受けた査読者に、論文の学術的・実践的価値を積極的に評価して頂く内部査読者制度の運用を開始します。つきましては、学会員より自薦・他薦により広く査読委員を募ることと致しましたので、お知らせ致します。なお、本制度は、次世代の学会誌運営を担う若手人材育成の観点も含まれておりますことを申し添えます。ご不明な点・ご質問などは学会事務局までお気軽にお問い合わせください。

■募集期間 ：2021年10月15日（金）～12月3日（金）

■主な内容 ：人間工学誌に投稿されてきたリサーチ・イシュー／短報／実践報告等の「実践」論文について、査読を担当頂きます。主に中堅研究者や人間工学に関する実務経験豊富な方、次世代の学会誌運営に携わって頂く方の人材育成の観点から、特に若手人材も歓迎致します。査読件数は年数件以内です。なお、査読委員には、計60分程度のオンライン講習を事前に受講頂きます。査読方針や査読方法について理解頂いた上で、承諾書へご署名頂き、査読委員の委

嘱状を学会事務局より正式に発行致します。

<オンライン講習コンテンツ（予定、各 10-15 分程度）>

* 2021 年 12 月中に受講頂きます

- ・ 人間工学誌運営方針
- ・ 人間工学誌の特色・ジャーナルメトリクス（基本統計）
- ・ 投稿規程および論文執筆要領の解説
- ・ 論文査読方針
- ・ 査読の流れ、システムの操作方法

■任期 : 1 期 2 年（再任可）

■応募方法 : 学会ホームページのお知らせ欄 (<https://www.ergonomics.jp/>) または右記 QR コードより応募フォームにアクセスし、お申し込みください。正会員の方から応募するように推薦された方は、推薦者氏名・所属も記載頂きます。



■応募要件 : 正会員であること（代議員としての被選挙権を有する者）

■選考方法 : ご自身の専門領域、人間工学関連のキャリア、志望動機を指定のフォームにて記載頂きます。キャリア・業績で一定要件を満たす方は原則、査読委員として登録致します（ただし、編集委員会にて審議の上、要件を満たさないと判断される場合にはご希望に添えない場合があります）。

■メリット : 査読委員は正式な学会活動であり業績となります（委嘱状を発行します）。また、毎号の学会誌の裏表紙に査読委員として氏名を掲載致します。また、人間工学誌では「トップ 10% 査読者賞」制度の運用が 2021 年度より始まっております。査読を多く引き受けて頂くことで受賞者にノミネートされる可能性も高まります。なにより、査読の経験を積み、審査・評価視点を学ぶことができる点は最大のメリットです。研究者としてのスキル向上、論文執筆力の向上などにも繋がります。

■運用開始 : 2022 年 1 月より運用を開始します。

■お問い合わせ先 : 日本人間工学会 事務局 (jes@ergonomics.jp)